

日本銀行の働き

①**発券銀行**：紙幣を印刷する

②**銀行の銀行**：銀行にお金を融資する

※この時の金利を**公定歩合**と言って、この金利を上げ下げすることで金融政策を行う

③**政府の銀行**：税金や年金、社会保険料を預かる

日本でも金融ビッグバンが始まった！

世界では大手の銀行や株を扱う証券会社がガチンコの勝負をしている。日本の銀行でも競争原理を導入して経済を活性化しようと政府は大幅な規制緩和を行った。これを**金融ビッグバン**と言う。

1. 金利の自由化

もともと日本の銀行は一定額に固定された金利であまり銀行同士の勝負がなかった。そこで金利を自由化し預金者・融資先に魅力ある金融商品を作れるように規制緩和した。

2. 金融業務の自由化

もともと銀行はお金を預かり、保険屋は保険の加入を行い、証券会社は株を扱っていた。でも、今では色々な会社が銀行。証券取引、保険と言った金融業務を扱うことができるようになった。CMとかで新しい銀行や保険を耳にするのもこのせいなんだ。

3. 株式・外貨交換手数料の自由化

株式や外貨交換といった投資にも規制緩和を行い、各社が魅力ある商品を作ることで投資家たちが投資しやすい環境を整備した。



この金融ビッグバンを行うに当たって、投資に参加する消費者にもリスクを負ってもらおうと「**ペイオフ解禁**」という政策を実行したよ。これは銀行が破綻した時、それまで預金を全額保障していたものを**"1000万円まで"**と言う保障に切り替えたもの。投資で成功すれば利率が良くなったり良いことだらけだけど、失敗したら、預金者も被害を受けることがあるって事だね。